|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 令和元年10月30日11月号ＮＯ.9**春木小学校園だより** |

学校教育目標　　元気で根気よくやりぬく子を育てる　(元気な子)

よく考え、工夫する子を育てる　(よく考える子)

力を合わせ、進んでやる子を育てる　(協力する子)

≪1１月の予定≫



**◎募金活動　御礼**

**昨年度に続いて、１０月２日(水)に４年生がラパ－クに出かけ、民生委員、児童委員のみなさんと募金活動を行いました。消費税増税の逆風のなか、たくさんのご支援ご協力をいただきました。ありがとうございます。**

**民生委員の方から32687円の募金が集まり、非常な成果を上げたと連絡をいただきました。**

★警察からの注意

ある会議に出席した折、岸和田警察署の方から注意がありました。

不審火などによる「火」の扱いについて。これから寒くなります。たき火等厳禁です。

くれぐれも火の取り扱いに注意してください。

【校長室から】　　　　　　　　　　　　　読書について

　　読書の秋。読書には、いろんな方法があります。精読。熟読。乱読。‥‥そして、読まずに積んでいくだけの積読(つんどく)。

　　小学校時代の思い出を少し。ずいぶん前のことなので、ぼんやりとしか思い出せませんが。

あれは、小学校5年生の時です。友人の家に行くと友人の兄の買っていた漫画雑誌「少年ジャンプ」がありました。手に取り読み始めますと、これが面白い。最後に値段を見ると小学生だった私にも買える値段。その日から、ひたすら毎週月曜日、2枚の百円玉を握りしめて、近所の駄菓子屋へと通いました。

　　いつしか高校生になっていました。それでも毎週少年ジャンプを買う習慣は続いていました。

大きな悩み事が発生していました。今もそうですが、一度買った本を捨てることができない。56年買い続けた少年ジャンプが部屋の中を支配し始めました。

一度部屋の床に広げて、その上にじゅうたんをひき机などを置いたりしましたが、足元がぐにゃく゜にゃして動きにくい。すぐに別の場所へ。天井にとどくほどひたすら積み上げたりしましたが、咳(せき)したときに、一斉に崩れてきたりしてこの方法も断念。

寝ながら増殖していく少年ジャンプに悩みました。そして、寝ていていい場所を見つけたのです。それは、天井裏。押し入れの天板を少しずらせば、天井裏に登れます。見事に300冊近い雑誌は天井裏へ。奥のほうから古い雑誌を並べて、いつでも自由に見放題。突然、部屋が広くなったのをはっきりと覚えています。目の前から雑誌が消えると、存在が日々薄くなっていきます。

数週間後、いつもどおり布団に入って寝ようと思うと、天井の中央部がふくらんでいます。それも異様に垂れ下がっている感じ。「あっ」と飛び起きました。

天井裏の雑誌が湿気を吸ってふくらんで、天井裏で存在を主張していたのでした。これでようやくあきらめがつきました。天井をつぶしたらどれだけ叱られるかわかりません。泣く泣く300冊近い雑誌を廃品回収の業者に手渡し、代金として200円いただきました。今でもその200円は使わずにとっています。そして、読書は積読が一番だと今でも信じています。